

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	02	項	01	目	10
事務事業名	男女共同参画に関する写真・一行詩コンクール開催事業								
担当部署	企画部男女共同参画・交流推進課	0206000	電話	0187-63-1111			内線	297	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	06:仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり
	施策の大綱	02:男女共同参画社会の形成
	施策	01:男女共同参画のための基盤整備
	施策の内容	01:意識づくり
根拠法令等	男女共同参画社会基本法、大仙市男女共同参画推進条例	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	募集から入賞作品を活用した展示までの一連の学習・啓発活動を通して、男女共同参画社会実現のための正しい知識の習得や意識の向上を図る。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	市民(特に市内の児童・生徒)
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①男女共同参画を題材とした写真・一行詩を募集する。 ②入賞作品を広報誌やHPに掲載する他、秋の総りフェア等の行事開催時や、男女共同参画活動拠点コーナー(サンクレスト大曲内)へ展示するなど啓発活動に活用する。
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	①正しい知識の習得や意識の向上により、一人ひとりがその個性を活かしながら、家庭・地域・職場それぞれの場における取り組みを始めることが期待できる。 ②児童・生徒が学習活動を通して学ぶことにより、継続して男女共同参画社会を実現していく人材が育成されることが期待できる。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① コンクールの開催数	回	1	1	1
	② 応募依頼学校数	校	45	45	45
	③ 応募依頼サークル数	団体	30	80	80
成果 (事業の成果を測る)	① 写真応募数	作品	12	10	17
	② 一行詩応募数	作品	883	1,134	733
	③ 応募学校数	校	14	16	20
投入コスト	決算額		155千円	207千円	105千円
		一般財源	155千円	207千円	105千円
	人件費		3,568千円	3,524千円	3,566千円
		一般職員の年間従事人数	0.5人	0.5人	0.5人
		一般職員以外の年間従事人数			
	総コスト	(決算額+人件費)	3,723千円	3,731千円	3,671千円

事業を取り巻く環境	<p>一行詩に関しては、市内の小中学校の協力により、児童生徒に学習活動を提供することで応募いただいております。写真に関しては、特に市内の高校の写真部から応募いただいております。</p> <p>しかしながら、これまで、拠点センター登録団体や各種サークルへの働きかけ、審議会委員やF・F推進員など地域の推進役からの協力などにより作品募集のPRを行ってきたが、いずれも児童・生徒以外からの応募点数が少ないのが現状である。</p>
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	①作品の募集をとおして、市内の児童・生徒に男女共同参画を学習する機会を提供している。誰もが互いに人権を尊重し共に支え合う男女共同参画の実現は、市民のニーズに応えるものとする。 ②正しい知識の習得や意識の向上は、男女共同参画社会の実現や一人ひとりの個性を活かした協働のもとでのまちづくりの基盤となるため、市の事業として継続する必要がある。 ③作品の募集は、市民が男女共同参画を意識するきっかけとなるとともに、入賞作品は、啓発活動にも活用できる。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	①日常生活の中での出来事や場面を、男女共同参画の視点で鋭くとらえ表現した作品が年々増加しており、男女共同参画が徐々に浸透してきていることが伺える。 ②作品の募集内容、受付体制、PR方法等を見直すことにより、誰もが思いを表現し当事者として参画するきっかけをつくることことができる。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	B
	評価の理由	①募集する際の学校等への周知や広報掲載は、行政で行った方が効率的である。 ②作品の募集は、テーマを絞る必要があり、他事業と統合することはできない。 ③市の職員で対応する方が効率的であり、臨時雇用等の必要はない。 ④市内の児童・生徒以外の対象者への周知方法、また募集内容や受付体制、入賞作品を利用した啓発方法等を更に充実させることにより、コストを増加させずに成果を上げることができる。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	改善策	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
改善	A 現状のまま継続	テーマの設定、応募写真サイズの変更、作品受付体制の充実等により、写真の応募数は若干増加し、一行詩の応募学校数も増加した。今後は、入賞作品を活用した啓発方法について、展示回数を増やすとともに、課で発行する印刷物や封筒などにも作品を掲載するなどして活用方法を充実させていく。
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	
	F 終了	